

標題:

搭載後 10 年以上を経過した耐火救命艇の空気自給装置用貯蔵容器の爆発事故及び点検・記録について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-0456

発行日 2002 年 5 月 25 日

各位

弊会船級船に搭載され 10 年以上を経過した耐火救命艇の空気自給装置用貯蔵容器が、航海中或いは容器の充填中に爆発する事故が数件報告されています。爆発事故の正確な原因は明らかになっておりませんが、爆発を起こした容器、特にその下側にはかなりの発錆が認められ、局所的に板厚の減少が約 50%に達していた個所があったとの報告を受けております。幸い人身事故には至っておりませんが、一步間違えば重大な結果になった恐れがあると考えられます。

現在、船舶に搭載されている耐火救命艇については、1974 SOLAS (改正)(日本籍船舶にあつては安全設備規則)の要件及び製造者の定める取扱説明書に従った保守・点検が実施されているものと推察致します。しかしながら、上記の事故に鑑み、搭載後 10 年以上を経過した耐火救命艇の空気自給装置用貯蔵容器(以下、容器という。)、特にその下側の錆び・腐食・きず等の状態を早急に点検し、その結果を本船のログブック等に記録し、その後も少なくとも 5 年ごとに点検・記録して頂きますようご推奨申し上げます。点検の結果再充填する必要がある場合、陸上の適切な施設において少なくとも内部検査及び耐圧試験を実施した後に行うよう併せてご推奨申し上げます。

また、2003 年 1 月 1 日以降の SE(日本籍船舶にあつては安全設備)定期的検査の際、貴社による容器の定期的点検が実施されていることを本船のログブック等により確認させていただきます。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

財団法人 日本海事協会 (ClassNK)
本部 管理センター 検査技術部
住所: 東京都千代田区紀尾井町 4-7 (郵便番号 102-8567)
Tel.: 03-5226-2027 / 2028
Fax: 03-5226-2029
E-mail: svd@classnk.or.jp

* * * * *

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。